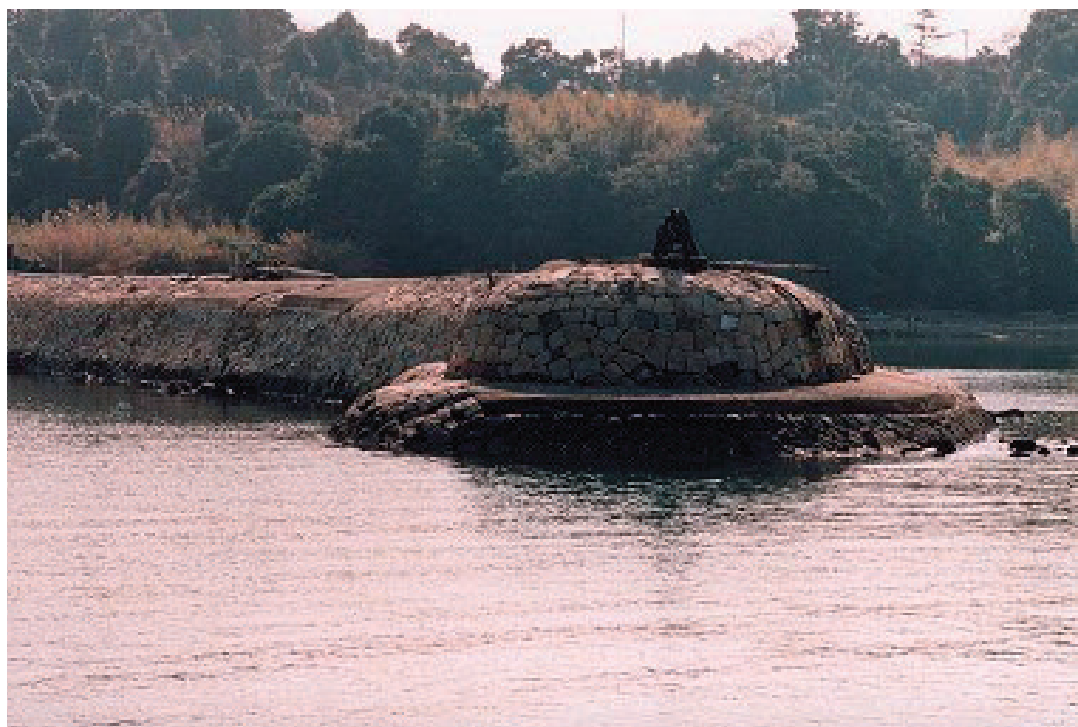


大多府漁港元禄防波堤

岡山県・備前市



大多府のある備前市日生町は、「日生千軒漁師のまち」と呼ばれ古くから瀬戸内海水運の要衝として栄えた。大多府島は周囲5kmの島で、北岸は天然の良港をなし、江戸時代には岡山池田藩の番所が置かれていた。

この元禄防波堤を築造するとき、何回も波に流されてなかなかできず、海の神のために子供2人を人柱として閉じ込めたという伝説があり、別名「夜なき波止」ともいわれている。

また、島内には江戸時代に構築された「六角大井戸」と呼ばれる六角形の石枠からなる井戸が残っている。当時この井戸は諸国の廻船、御用船に飲料水を提供するために掘ったもので、今でも井戸の水は枯れることがない。

TOPICS

- ・魚藍観音柴燈大護摩供 5月 開催
- ・特産品：カキ

お問い合わせ先

備前市産業建設部商工観光課

TEL / 0869-64-1832

備前市日生総合支所産業課

TEL / 0869-72-1101

【交通】

徒歩 / JR日生駅から10分

船 / 日生港から定期船で約30分

